

ジュゼッペ・ヴェルディ

Giuseppe Verdi (1813-1901)

ファルスタッフ

-Falstaff-

原作：ウィリアム・シェイクスピア

William Shakespeare, original

【ウィンザーの陽気な女房達】

【ヘンリー四世】

The Merry Wives of Windsor.

Henry, IV

台本：アリーゴ・ボーイト

Arrigo Boito, libretto

初演：1893年 2月9日、ミラノ・スカラ座

Teatro alla Scala 9, feb at 1893

親しみ度：☆☆☆☆☆☆☆☆

知名度：☆☆☆☆☆☆☆☆

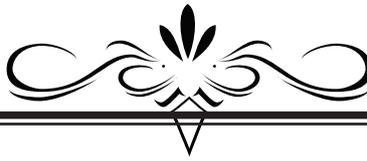
おもしろ度：☆☆☆☆☆☆☆☆

喜劇度：☆☆☆☆☆☆☆☆

形式：全三章

presented by

RISE AND TRUTH



登場人物



サー・ジョン・ファルスタッフ

Sir John Falstaff

老騎士、好色で知られ日夜酒屋で飲んだくれている太っちょ老人

アリーチェ

Alice

フォード夫人、二股を掛けようとしたファルスタッフを懲らしめようとする

フォード

Ford

フォード家当主でアリーチェの夫、短気なところがあり、嫉妬深い娘を腹心のカイウスと結婚させようとする

ナンネッタ

Nannetta

フォード夫妻の娘、フェントンと恋仲

フェントン

Fenton

街の青年、ナンネッタの恋人

クイックリー夫人

Quickly

近所のおばさん、ナンネッタを娘のように可愛がっている

メグ・ページ夫人

Meg

ページ家の夫人、アリーチェ、ナンネッタ、クイックリー夫人の親友

ピストーラ

Pistola

ファルスタッフの部下

バルドルフォ

Bardolfo

ファルスタッフの部下

カイウス

Dr. Caio

街の医師、ナンネッタに求婚している



～第一場～

～第二場～

ガーター亭、ファルスタッフは手下達と共に酔いつぶれている所へ、街医者のカイウスが怒鳴り込んでくる。カイウスは興奮冷めやらぬ形相で、昨夜の盗みと散々の狼藉を非難し、訴えると脅すが、ファルスタッフは狼狽するどころか全く取り合わず、言葉巧みに受け流してしまう。

ファルスタッフらに散々からかわれた挙句、カイウスは捨て台詞を吐くとガーター亭を出て行ってしまふ。

その後、ファルスタッフは店の主人に会計を払おうとするが、所持金が足りない。

ファルスタッフは子分二人を連れていて金が掛かる、と毒づきながら会計をごまかすと、明日の酒代をどう捻出するか考えをめぐらす。

やがて街有数の富豪、フォード家の夫人アリーチェと、ページ家の夫人メグを誑かし、玉の輿に乗って酒代を捻出しようという案をひねり出すと、早速二人に充てた恋文を書き始める。

最初はファルスタッフの企みに賛成するバルドルフォとピストーラだったが、ファルスタッフに書き終えた恋文の配達を頼まれると二人は、騎士として丁稚のような真似はごめんだ、と、その役を断る。

言いなりにならない手下に業を煮やしたファルスタッフは丁稚を呼び寄せて手紙を渡すと、手下二人を散々ののしった挙句、酒屋から追い出してしまった。

場所変わってフォード家の玄関前。

アリーチェとナンネッタが出てきたところへ、メグ夫人とクイックリー夫人が通りかかる。

アリーチェは嬉々としてファルスタッフから恋文が来たと自慢するが、メグ夫人は自分もファルスタッフから手紙を貰った事を告白する。

お互い、相手が冗談を言っていると思っていたが、互いの手紙を交換してみると、そこには名前以外の全てが瓜二つの手紙が。

四人はファルスタッフが自分達を誑かそうとしている事に気づいて怒るが、逆にファルスタッフを陥れてやろうと考えをめぐらす。

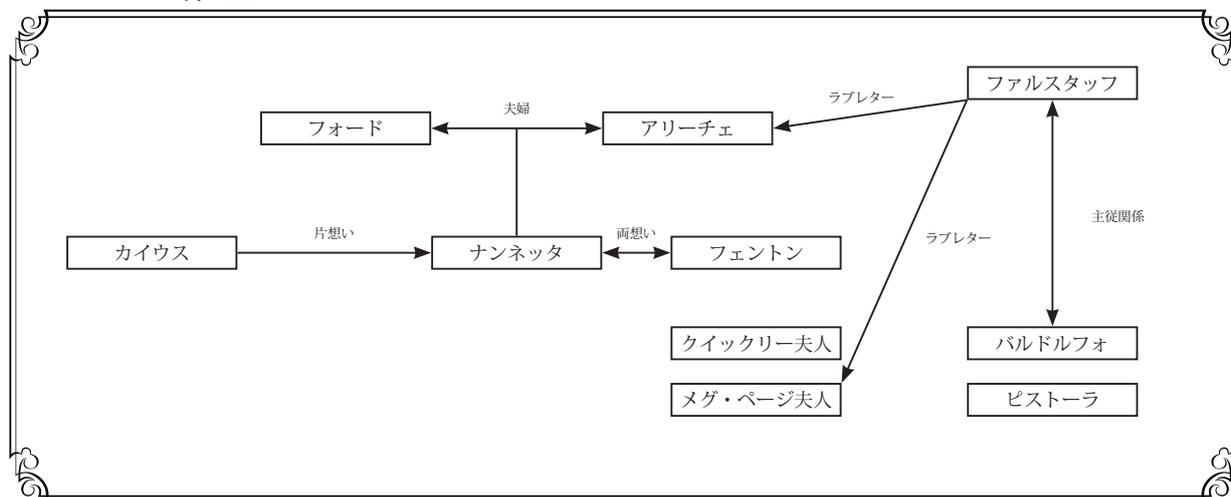
時を同じく、街角では、ガーター亭を追い出されたピストーラとバルドルフォがファルスタッフのアリーチェたちを誑かそうとしている事をアリーチェの夫、フォードに告げる。

単純なフォードはすっかり腹を立てて腹心のカイウス、そしてバルドルフォとピストーラを引き連れてガーター亭へと急行する。

一方、ナンネッタと恋仲にあるフェントンは、夫人三人の輪から飛び出てきたナンネッタと恋の密会を果たす。

様々な思いが交錯する中、先ずはクイックリー夫人が一計を案じ、ガーター亭へと向かう。

人物相関図



～第一場～

ガーター亭で飲んでいるファルスタッフの元へクイックリー夫人が訪れる。夫人はアリーチェが夫が留守をしている2時から3時までの間、フォード家であなたが来るのを待っている、と伝える。ファルスタッフは自分の計画が成功だと信じ大喜びすると、クイックリー夫人に感謝の意を告げ、帰りの代金を渡して見送る。

嬉々として逢引の準備を始めるところへ、フォードがフォンターナという名の富豪に扮してファルスタッフの元へやってくる。フォードはファルスタッフの目の前に金を積み、アリーチェという女に惚れているが、全く私に興味を示さない、あなたが代わりに口説いてくれないか、と頼む。妻の貞操を試そうというフォードだったが、ファルスタッフに既に逢引の約束をしている、と打ち明けられ愕然とする。ファルスタッフが召し替えの為に別室へ下がって行くとフォードは妻が浮気をしていると信じ激昂する。やがて召し替えを済ませたファルスタッフはフォードの気も知れず、腕を組む。二人仲良くガーター亭を出てゆき、舞台はアリーチェと様々な面々がファルスタッフを待つフォード家へ。

～第二場～

クイックリー夫人が一足先にフォード家へ戻ってくる、ファルスタッフが上手く口車に乗ったことを聞き一同大喜びするが、カイウスとの婚約を言い告げられたナンネッタが泣きながら戻ってくると、一同猛反対。2時になると、ファルスタッフを訪れる。アリーチェ以外の三人が外から見守る中、ファルスタッフはアリーチェを口説き落とそうと様々な誘惑を掛ける。しかし、そこへ部下やカイウスを従えたフォードが怒りに震えながら間男を探しに家に押しかけてきた！アリーチェやメグ達はたちまち青ざめてファルスタッフを洗濯籠の中に隠すと血相を変えたフォードを迎える。しかし、アリーチェの出迎えもむなしく、フォードらはファルスタッフを見つけるため、家捜しを始めた。どさくさにまぎれてフェントンとナンネッタは熱い抱擁、そしてそれを発見したフォードはますます激昂する。てんやわんやの結果、メグとクイックリー夫人がフォードがやってくる前に、ファルスタッフが隠れている洗濯籠を窓からテムズ河へ投げ捨てる。アリーチェがフォードに全てを話し、全ての誤解が解ける、一同快哉を叫び、一先ず幕。

マメチシキ・オペラ

ファーストクラス 最高級のおペラ座

世界にはオペラを上演する為の施設が多数ありますが、その中でも最高峰と呼ばれるオペラ座はファンの間では定番とされ高い人気を誇っています。今回は特に人気の高いオペラハウスを紹介しましょう。

・ウィーン国立歌劇場 Winner Staatsoper

世界最高の実力を誇るウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を内包するオペラ座で、年間演目数は約300にも及びます。現在の音楽監督は小澤征爾、歴代監督にはマーラー、R. シュトラウスなど名作曲家も名を連ねる、歴史あるオペラ座です

・ミラノ・スカラ座 Teatro alla Scala

イタリアオペラの演奏表現力において他の追随を許さない、それがスカラ座です。ヴェルディ、プッチーニといった多くのオペラ作家の初演歴を持ち『歌手も演出も最高級』という魅力を持つオペラ座です。

・国立パリ・オペラ座 Opera National de Paris -Garnier & Bastille-

双子のオペラ座であり、オペラ座の怪人の舞台となった場所、それがフランスはパリに拠点を置くパリ・オペラ座です。バレエ専門のガルニエ座、オペラ専門のバステューユ座という特徴を活かし、バライティにとんだ演目を鑑賞することが出来ます。

・コヴェントガーデン・ロイヤルオペラハウス Coventgarden Royal Opera House

英国屈指の上品で豪華絢爛なオペラを提供し続けるのは、イギリスのロイヤルオペラことコヴェントガーデン。演劇と音楽の融合された音楽劇という総合的な芸術性を重視する、格調高い表現が魅力的です

・メトロポリタン歌劇場 Metropolitan Opera

アメリカが誇る世界に匹敵するオペラ座といえばメット (MET) ことメトロポリタン歌劇場において他にはありません。名演出家ゼッフィレリ、シェンク、名指揮者レヴァイン、名歌手ドミンゴと、きらびやかな舞台を満喫できるオペラ座です。

～第一場～

ガーター亭の前、相変わらずファルスタッフは飲んだくれている。
そこへ、同じようにクイックリー夫人がやってくる、夫人はアリーチェがあなたと会いたいと願っている、と告げるが、ファルスタッフは怒りが収まらない。最初は邪険に接していたファルスタッフだったが、クイックリー夫人の口車に乗せられ、結局真夜中のウィンザー公園で落ち合う約束をしてしまう。
ファルスタッフは、今度はフォードも含め、殆ど全員からはめられている事も気づかずに浮かれ気分で支度を始める。
やがて日が沈み、舞台は全員が待ち構えるウィンザー公園へ。

～第二場～

真夜中のウィンザー公園、ファルスタッフはクイックリー夫人から手渡された手紙にあるように、仮装して現れる。
12時の鐘が鳴り待ち合わせの時間となり、アリーチェとメグが現れる。興奮したファルスタッフを見てメグが叫び声を上げると三人は一樣に姿を隠す。
やがて妖精に扮したナンネッタが声を上げると、事情を聞かされた村人達が妖精の姿となってファルスタッフを棒で突付き回し、ファルスタッフはアチコチで謝罪させられる。
しかし調子付いたバルドルフォが油断して仮装を見破られてしまう。
最初は怒っていたが、疲れに尻餅をついてしまうファルスタッフの前にフォードが現れ、今までの事を謝罪させられると、一件落ち着いたフォードはナンネッタとカイウスの挙式を強引に開催してしまう。
しかし、カイウスだと思われたナンネッタの相手は、フェントンになっていた！・・・すでにアリーチェがフェントンにすり替えてさせていたのだった。
結局フォードもみんなの笑いものになり、全員で歌と踊りの夜食パーティとなり、大団円の幕は閉じる

オススメのディスク!

多くの名盤がある『ファルスタッフ』ですが、歌手、指揮者、オーケストラ、タイミングがばっちりかみ合った時に生まれる最高級の内容を収めたディスクはそう多くはありません。
そんな中、私 shimizu が敢えて選んだディスクはこれ!

・カラヤン指揮 ウィーン国立歌劇場管弦楽団・合唱団 タディ、パネライ、ルードヴィッヒ他

クラシックファンにとって目が離せない夏のイベント、それがザルツブルグ音楽祭です。

世界各地から有名音楽家が集う、正に世界最高の舞台。

1982年、帝王カラヤンはウィーンフィルハーモニー管弦楽団と共に、『ファルスタッフ』を以ってこのステージに挑み、近年稀に見る大成功を収めました。

このディスクは本番直前、ほぼ同一キャストによってスタジオ録音された物で、大喝采を浴びたステージの記録を如実に伝える非常に貴重な記録です。

カラヤンらしいアンサンブルの精緻な表現と弦の響き、そしてファルスタッフ役のタディを始めキャストも充実しており、この作品を知る上で非常に有効な万人にオススメできる一枚です。

・トスカニーニ指揮 NBC 交響楽団、ロバートショウ合唱団、ヴァルデンゴ、ネリ、エルモ他

ヴェルディ本人とも深い親交があり、台本作家であるボーイトから惜みない賞賛を与えられたイタリアオペラの天才的指揮者といえどトスカニーニにおいて他なりません。

深い研究、芸術的センス、作曲家ヴェルディとの、音楽性に関する深い共通点は、この作品に込められた作曲者自身のメッセージを明確に表現しており、ヴェルディと、その音楽にまつわるルーツを知る意味で非常に重要な一枚です。

残念ながら録音年代が非常に古く、音質は明瞭ではありませんが、演奏自体は非常に軽快で、リスナーに対してテンポが非常に良く幕が開いてから閉じるまで、純粋に音楽を楽しむ事が出来る、魔法のような出来となっています。

音楽に対して事敵しい事で知られるトスカニーニと、当時世界最高と呼ばれた歌唱力を持つロバートショウ合唱団のアンサンブルも素晴らしい、一糸乱れぬその合奏力は半世紀前のモノラル録音でありながら、素晴らしいと実感出来る内容です

・カラヤン指揮 ウィーン国立歌劇場管弦楽団・合唱団 タディ、パネライ、ルードヴィッヒ他

大成功に終わった1982年のザルツブルグ音楽祭の記録を伝える映像ディスクです。

名歌手として知られるルードヴィッヒ扮するクイックリー夫人、喜劇役者として最高の実力者であるタディのファルスタッフ、イタリアオペラの歌手として高い実力を持つパネライのフォード etcetc、素晴らしいキャストと素晴らしい演奏、そしてカラヤン自身がプロデュースした舞台演出は清楚美しく、オペラを見ようとしているオペラ初心者にも、正に最適のディスクといえます。